

オンライン会社見学会「ハフハフ」@こうれいきょう様

2020年8月5日

落語家の呼吸に通じる!? 若者と事業所の信頼関係を感じた訪問でした。

世田谷区の池尻・三宿・若林地区にて、高齢者の在宅(自宅)生活を支援されている社会福祉法人こうれいきょう様宛に訪問をしました。また見学会には世田谷サポステの浦さんにもご参加をいただきました。有難うございます。

訪問会場はデイホーム池尻。「地域に住まわれる高齢者の方が朝から夕方までの日中、日帰りで過ごされます」とサービス統括をされている河合さん。「高齢者の方の定員は40名。この池尻で働くスタッフは約15名。うち3名の若者に手伝ってもらっています。5年、そして10年と続けてもらっているかな」。

「こうれいきょうは約20年前にサービス開始。若者とのつながりは10年前ほどから。先ほどは池尻の話をしました。事業所全体では90名のスタッフがあり、若者は2つの事業所で現在4名」。「地域サポステ、そして若者と相談をしながら出来ることを進めていけるようになってきました。みなさんを受け入れ、共に考え、社会へとつながっていけるようサポートしたいです。安心してくださいね」と微笑む。

「たとえばデイホーム池尻の仕事は、介護、掃除、フロアなどいくつかあります。若者にとって出来ることを手伝ってもらい、週一回から続けられるように。徐々にやれることを広げてもらって、自信をもってもらえれば。応援したい、その気持ちです。先に上げた仕事以外では、運転(送迎)だったり入浴介助もできるようになった若者もいます。経験がまったくなくても大丈夫ですし、介護職の資格支援もしています」と河合さん。

--

そして若者にもインタビューに参加をしてもらいました。「お手伝いをさせてもらいはじめてから4年です。正直、介護職にたずさわるイメージはもっていませんでしたが(笑)、仕事に携わるうちに、利用者さんとの関係とかも出来てきて。辞めるのももったいないなって」と笑顔に。「仕事はチームでまわしています。誰かが誰かのバックアップをしているので、自分が休まざるを得なかったときにも安心ができます。そのチーム感は初めてきたときから感じていましたね」。「そうそう。デイホームってゆっくりした時間が流れているように感じるかもしれませんが、スタッフ側は結構慌ただしいんですよ。だけど、チームで動き、コミュニケーションを取り合っているのが毎日課題が見つかるのも新鮮な職場です」と語ってくれた。

--

インタビュー中、若者の話に対して、河合さんが「そだね。それはあるかもしれないね」「いいんだよ」と抜群の呼吸で合いの手を入れてらっしゃるのが印象的でした。昔、噺家(真打ち)さ

んから伺った落語家の呼吸を思い出しました。曰く、落語家は壇上にありながら、会場にいる方の呼吸を観察しているそうです。呼吸の間合いを読みながら、笑いが起きそうな瞬間にオチを差し込むそう。

これはお互い、よく見、よく見られていないとできないことだと思います。河合さんと若者の会話には、信頼関係を感じ、それは日頃からのコミュニケーションの質からくるものなのだなと感じました。

そして河合さんは、若者を応援したい、とおっしゃっていたのもこうれいきょう様そのもののお考えだと思います。

みなさま、インタビュー時間をいただき有難うございました。